

スマートモビリティによる地域生活継続支援モデルの確立 (神奈川県 横須賀市)

【横須賀市、浜銀総研、NTTドコモ、YRP研究開発推進協会、京急グループ】

◆地域の課題

- 公共交通が立ち入れない谷戸地域(坂や階段が多く、路地も狭く入り組んだ居住地)がスポット的に存在して交通空白地帯となっている
- また、転出超過数が全国1位(2013)となっており、移動しづらさに起因する人口流出によりコミュニティ継続危機、空き家増加に繋がる懸念あり

- ☒ 複数移動手段活用時の利便性
- ☐ 公共交通・道路の混雑

- ☒ ラストマイルの移動手段不足
- ☒ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- 「横須賀スマートモビリティ宣言」における、まちづくりビジョンは、「誰もひとりにさせないまち」「新たな価値をつくるまち」「活力に溢れるまち」の3つ
- AI/IoTを活用した新たな公共交通システムや、病院や商業施設等と交通の連携により、質の高い地域生活を維持できるモデルを確立

◆実証実験の概要

- 11月下旬～12月頃、交通空白地帯の多い横須賀市内逸見エリアにおいて、住宅エリア、交通結節点、商業施設、医療施設をオンデマンドバスでつなぐ実証を実施。
- 事業成立性や運用方法、モビリティの改善効果に関する分析を実施
- 病院の予約システムや、商業施設の広告情報との連動は本年度は努力目標
- また、横須賀におけるスマートモビリティの推進プログラムで支援するスタートアップ企業のパーソナルモビリティ等について、ユースケースごとの運用方法、上記オンデマンドバスや既存交通と連携したモビリティデザイン、地域経済波及効果の分析、社会実装に向けた課題の机上での検討・検証等を実施

- | | |
|---|--|
| ☐ カーシェア | ☐ 貨客混載 |
| ☒ デマンド交通 | ☐ ラストマイル配送無人化 |
| ☒ マルチモーダルサービス | ☒ 移動サービスと周辺サービスの連携 |
| ☐ 自動走行車の活用 | |

METI「IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会」中間整理」より引用

◆対象地域

- 実証実験は横須賀市内逸見エリアが対象
- 逸見エリア内の住宅エリア、交通結節点、商業施設、医療施設が乗降ポイント

◆サービスモデル

- 移動困難地域においてAI運行バスを導入することによって地域周遊性を向上
- 医療システムや商業施設と連携することによって質の高い生活を実現し、当該地域への新たな層（若者等）の人口流入を促進

